2024年３月29日
澁澤倉庫株式会社

当社取締役会の実効性の分析・評価に関する結果の概要について
（コーポレートガバナンス・コード補充原則4-11③に関する開示）

当社では、取締役会の機能向上をはかることを目的として、取締役会の実効性の分析・評価を実施しております。今般、2023年度の分析・評価が完了しましたので、その結果の概要について開示いたします。

１．分析・評価の方法

2023 年度の分析と評価については、以下の事項に関する無記名方式のアンケートを取締役会構成員全員（10名）に配布し、当アンケートを回収の後、集計いたしました。

また、この集計結果を基に、本年３月の取締役会において、今後の取締役会の機能強化に向けた取組みについて討議いたしました。

※アンケートの内容

（１）2023年度に実施した改善事項への評価
（２）取締役会の構成に関する事項
（３）取締役会の運営に関する事項
（４）個々の議題に関する事項
（５）取締役会構成員としての自己評価
（６）取締役会の審議の活性化や機能強化のための取組みに関する自由記載

２．分析・評価結果の概要

当社の取締役会は、構成について昨年逝去された社外取締役（女性）の補充が課題となりますが、運営に関して概ね適切であり、構成員すべてが自由に発言できる雰囲気を有し、意思決定プロセスが合理的であること、社外取締役と社外監査役（以降「社外役員」と称します。）が、その役割と責務を十分に果たしており、取締役会全体が実効的に機能していることを確認いたしました。

３．2023年度に実施した改善事項への評価

2023年度に実施した改善事項とその評価は以下のとおりでした。

（１）企業戦略、中期経営計画、主要なリスク、サステナビリティ課題への取組み、事業ポートフォリオ戦略等に関する議論を更に深めるべきとの意見

2023年度は、サステナビリティに係わるマテリアリティに対する前年度の取組み結果および今年度の評価項目と指標（ＫＰＩ）の更新、企業戦略や主要なリスクの認識を含め、中期経営計画の検討進捗状況について、事業ポートフォリオに関する分析について、それぞれ報告し、議論いたしました。今回のアンケートにおいて、

・中期経営計画については、説明・議論がされており問題ないと考えている。可能であれば、当社の事業内容も含めて 10 年後、20 年後の長期的ビジョンでの会社の在り方についての検討がもう少しあっても良いのではないか。

・サステナビリティについての議論、取組みも推進していると思うが、環境変化にともない、今後、さらに必要になってくると思う。

との意見がありました。

（２）極めて重要な審議事項について、その議論の過程を社外役員に説明すべきとの意見

必要に応じて、書面（取締役会付議事項の「概要説明書」）を用い、極めて重要な審議事項・報告事項について、経営執行会議以前の議論の過程について、社外役員に説明いたしました。

４．今回のアンケートの意見と今後の対応

（１）取締役会の構成に関する事項

（昨年逝去された）社外取締役１名（女性）を補充すべきとの意見

業容の拡大、激しく変化する事業環境への対応や多様性を考慮しながら、社外取締役候補者の選定をすすめ、６月開催予定の定時株主総会に付議する方向で早急に検討いたします。

（２）個々の議題に関する事項

企業戦略、中期経営計画、主要なリスク、サステナビリティ課題への取組み、事業ポートフォリオ戦略等や、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関する議論を更に深めるべきとの意見

取締役会において、更なる議論を深めるための機会を定期的に設定するとともに、議論の結果を資本市場へ発信する方法について検討してまいります。

当社取締役会は、本分析・評価結果を踏まえ、重点的に議論すべきポイントを整理・明確化し、更なる議論の活性化をはかりながら、当社グループの持続的な企業価値向上を目指してまいります。

以　上